

Title	2010 年度聖学院大学人間福祉スーパービジョンセンター年次報告書
Author(s)	聖学院大学人間福祉スーパービジョンセンター 編
Citation	2011.3 : 1-28
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/refs/modules/xoonips/detail.php?item_id=4267
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

2010 年度

聖学院大学
人間福祉スーパービジョンセンター
年次報告書

聖学院大学総合研究所

目 次

1	事業概要	
1)	目的	2
2)	実施体制	2
3)	報告書様式	3
2	事業実績	
1)	スーパービジョンセンター委員会	4
2)	スーパービジョン事業	
(1)	グループ・スーパービジョン	8
(2)	個別スーパービジョン	8
(3)	スーパーバイザー支援制度	8
(4)	ピア・スーパービジョン	9
3)	その他の事業	
	パンフレット作成と広報事業など	17
4)	今後の課題	
	SVCの事業についての卒業生や関係者への拡大など	22
3	予 算	22
4	決 算	23
5	資 料	24

1 事業概要

1) 目的

社会福祉の現場では、日々、さまざまな戸惑い、失敗、ゆれに直面することは少なくない。その結果、不安を抱えて仕事を続けることになり、孤立する人、未来を描けない人も少なくない。これらの壁を乗り越え、バーンナウト、燃え尽きないための方法として、「スーパービジョン」がある。

スーパービジョンとは、スーパーバイザー（熟練したソーシャルワーカー*）が、スーパーバイジー（経験の浅いソーシャルワーカー）に対し、その人の能力が最大限に引き出され、活用されるように支援するものである。具体的には、困難状況や事例に関する不安や戸惑いに耳を傾け、受容し、有効なアドバイスをするものである。

聖学院大学では、2008 年度から、人間福祉学科卒業生や広く福祉実践に従事する関係者を対象にスーパービジョンの機会を提供することとした。

2) 実施体制

<プログラム>

○個別スーパービジョン

スーパーバイザーによる個別のスーパービジョン（原則毎月 1 回程度）

○グループ・スーパービジョン

スーパーバイザーによるグループ・スーパービジョン（毎月 1 回）

○研修交流会 ピア・スーパービジョン（年 2 回開催）

主にスーパービジョンに関する実践理論の勉強や経験交流の場を提供する研修会

○スーパーバイザー支援制度

すでにスーパービジョンを行っている人々をサポートする制度

<場 所>

聖学院大学、新都心ビジネス交流プラザ など

<担当者>

柏木 昭 聖学院大学総合研究所名誉教授、(社) 日本精神保健福祉士協会名誉会長

助川征雄 聖学院大学人間福祉学科長、教授

相川章子 聖学院大学人間福祉学科准教授

大野和男 聖学院大学非常勤講師、(社) 日本精神保健福祉士協会相談役

田村綾子 聖学院大学非常勤講師、(社) 日本精神保健福祉士協会認定スーパーバイザー

行實志都子 文京学院大学准教授、聖学院大学非常勤講師

廣江 仁 社会福祉法人養和会指定障害福祉サービス事業所 F & Y 境港（就労継続 A 型、B 型）所長、日本精神保健福祉士協会認定スーパーバイザー

* 熟練したスーパーバイザーとは、(社) 日本精神保健福祉士協会認定スーパーバイザーとして精神保健福祉士国家資格を有する者などを言う。

3) 報告書様式

聖学院総合研究所事務室宛 (FAX 048-781-0421)

聖学院大学 人間福祉スーパービジョンセンター

実 施 報 告 書

年 月 日

スーパーバイザー氏名			
スーパーバイザー氏名			(GSV 記入) 人
実施スーパービジョン		<input type="checkbox"/> 個別スーパービジョン	
		<input type="checkbox"/> グループ・スーパービジョン	
		<input type="checkbox"/> スーパービジョン支援制度	
実施年月日	年 月 日 ()		
実施時間	AM PM	時 分 ~	時 分
実施場所	① 聖学院大学 (教室名)		
	② さいたま新都心交流プラザ4階 (北与野駅前)		
	③ 聖学院生涯学習センター (駒込駅近)		
	④ その他 ()		
事務局への要望			
質問			
その他			
相談料	金額 (支払方法)	会計担当	事務担当

2 事業実績

1) スーパービジョンセンター委員会

第1回委員会—4月21日（水）11：30～12：30

場 所：3号館 3204

出席者：中村磐男、牛津信忠、助川征雄、相川章子、事務局；山本俊明、鈴木典子（書記）

欠 席：柏木 昭

議 題：

I 報 告

1 個別スーパービジョン

- ・ 柏木担当 3名継続
- ・ 助川担当 2名継続
- ・ 田村先生担当 1名継続、1名新規

2 グループ・スーパービジョン（柏木担当）

8名申し込み。5/11（火）から開始、新都心ビジネス交流プラザ聖学院教室にて。

II 検討事項

- 1 2009年度スーパービジョンセンター報告書の配布について
- 2 98W山田裕太氏作成の第4回ピア・スーパービジョン報告書をHPに掲載する件
- 3 第5回ピア・スーパービジョン（2010）の速報をSWnetに依頼する件
- 4 SWnetのメーリングリストの活用について
- 5 スーパーバイザーの増員
- 6 スーパーバイザー委嘱状の発行
- 7 次回（第6回）ピア・スーパービジョンについて

第2回委員会—7月21日（水）11：30～12：30

場 所：3号館 3201室

出席者：柏木 昭、中村 磐男、牛津信忠、助川征雄、事務局；山本俊明、辻本 修、鈴木典子（書記）

議 題：

I 報 告

1 個別スーパービジョン

- ・ 柏木担当 2名継続
- ・ 助川担当 2名継続
- ・ 田村先生担当 1名8月で終了、1名新規開始
- ・ 大野先生担当 1名新規、第1回実施済み

2 グループ・スーパービジョン（柏木担当）

- 3 新規申し込み 3名 それぞれ大野先生、田村先生、柏木に担当を打診。

Ⅱ検討事項

- 1 スーパーバイザー委嘱状発行 スーパービジョンセンター長の名前で発行する。
- 2 スーパーバイザー情報交換会 スーパーバイザー同士の情報交換を行う会を設ける。
- 3 第6回ピア・スーパービジョンの内容(10/16(土)午後、大学)
 - ① 講演：廣江先生、大野先生 ②グループディスカッション ③懇親会 SWnet
 - ・ 在学生が参加するための働きかけ。助川ゼミ・相川ゼミ生に案内。口コミに期待。
 - ・ SWnet の次の世代を育てたい。3～4 期生が育ってゆくように見守りたい。
- 4 第7回ピア・スーパービジョンについて SWnet の企画に任せる。
- 5 ビジネス交流プラザ聖学院教室の鍵管理の問題

第3回委員会—9月29日(水)

場 所：3号館3201室

出席者：柏木昭、中村磐男、牛津信忠、助川征雄、相川章子、事務局；山本俊明、鈴木典子(書記)

議 題：

I 報告

- 1 個別スーパービジョン及びスーパーバイザー支援制度
 - ・ 柏木担当 3名継続中
 - ・ 助川担当 2名継続中
 - ・ 田村先生担当 1名継続中、1名終了、1名開始予定
- 2 グループ・スーパービジョン
 - ・ 柏木担当
 - ① 埼玉県 グループに変化が出てきた。
 - ② 石川県 6月から月1回。当センターの活動とし経費はセンター予算で支払う。
 - ・ 助川担当 当センター事業ではないがグループSVを実施している。
 - ①さいたま市精神保健福祉センター講師 ②茨城県精神保健福祉センター講師
- 3 新規申し込み なし

Ⅱ検討事項

- 1 第6回ピア・スーパービジョン 2010年10月16日(土)13:30～16:30
 - ・ オープンキャンパスとの相互乗り入れについて
 - ・ 在学生への参加呼びかけについて
 - ・ グループを「地域」「病院」「施設」等領域で分けることをSWnetに提案する。
- 2 スーパーバイザー情報交換会 10月16日(土)11:00～13:00
出席：廣江先生、行實先生、柏木、助川、昼食からの参加：中村、牛津、事務局
- 3 その他(意見交換)
 - ・ 遠方からの申込みに関して、SVR同士の繋がりを考えると地元では相談しづら

い感じがあって、遠方でSVを受けることを厭わないという気持ちがわかる。

- ・ 各地で研修会的なものは多々あるが、実態はスーパービジョンにはなっていない。
- ・ 日本社会福祉士会ではスーパービジョンを行っていない。東京都支部も同じ。
- ・ 医療社会事業協会（東京）では行っているが医療現場としての方向性に限定され、生活者中心の地域生活を推進するような方向性でのSVは今後の課題である。
- ・ 既存の研修会的なものには個別援助の能力向上や自己改革が感じられない。そこには援助論としての「関わり論」が存在していないのではないか。

第4回委員会—2010年12月15日（水）

場 所：3号館 3201室 11：30～12：30

出席者：柏木 昭、中村磐男、牛津信忠、助川征雄、事務局；山本俊明、辻本 修、鈴木典子（書記）

議 題：

I 報告

1 個別スーパービジョン

柏木 2名継続中

助川 2名継続中

田村先生 2名開始

2 スーパーバイザー支援制度

柏木 1名継続中

3 グループ・スーパービジョン

・ 柏木

① 埼玉県 新都心ビジネス交流プラザ聖学院教室にて第2火曜日に実施中

② 石川県 1名ずつの事例報告とフリーディスカッション 場所は小松か金沢

③ 当センターの事業ではないが東京都医療社会事業協会でも行っている。

・ 助川 当センターの事業ではないが以下2件を実施中である。

① 茨城県精神保健福祉センター（年3回） 事例報告1件、質疑応答、講義など

② さいたま市精神保健福祉センター

事例報告1件、質疑応答、講義、事例報告者の個別SVなど

・ 新都心ビジネス交流プラザ教室が契約打ち切りになった場合の代替場所について。

① ビジネス交流プラザ会議室を借りる。埼玉県北部から来ている人に都合が良い。

② 本部新館を借りる。鍵の管理の問題がある。 ③ その他の便利な所を借りる。

4 新規申し込み状況

5 第1回スーパーバイザー情報交換会（10月16日11：00～13：00 国際金融研究室）

参加者：行實志都子先生、廣江仁先生、助川

スーパービジョンセンターの活動の概要の再確認および現状と課題について

6 第6回ピア・スーパービジョン（10/16）在校生18名が参加

- ・ P S Wグループに在校生が集中し過ぎ、話しにくかったという声があった。
- ・ 意欲の低い学生が参加するとやりにくいという意見もあった。⇒当初意欲が低かったとしても参加することで刺激を受け、良い影響があることも確認された。
- ・ 守秘義務について在校生に事前に話しておく必要があったかもしれない。

7 第7回ピア・スーパービジョン (2011/2/26 (土) ビジネス交流プラザ会議室)

- ・ S Wnet が主体になって計画中である。11/27 S Wnet 会議記録参照。
- ・ 発表：障害 - 紫藤、高齢者 - 秀村 M S W - 山谷、コーディネーター大島
- ・ 案内送料を人間福祉学科の費用として予算に組む方向で依頼したい。

II 検討事項

1. 第7回ピア・スーパービジョンの在校生への声掛けについて
学科会で教員に呼びかける。キャリア・サポート課とのタイアップを強化する。
2. 出版計画について 河出書房からスーパービジョンの本を出版する計画がある。
 - ・ 担当者と第一回打合せ済み、今後、構成や執筆者を決める。
 - ・ 柏木に監修を依頼したい。⇒柏木了承
3. S V C 2010 年度 年次報告書の作成について

第5回委員会—2011年2月23日(水)

場 所：3号館 3201室 11:30~12:30

出席者：柏木 昭、中村磐男、牛津信忠、助川征雄、事務局；山本俊明、辻本 修、鈴木典子（書記）

I 検討事項

1. 第7回ピア・スーパービジョン (2011/2/26 (土) 13:30~16:30 ビジネス交流プラザ)
 - ピア・スーパービジョンの説明 相川
 - 卒業生の報告 障がい者…紫藤彬子 (103W)、高齢者福祉…秀村智香 (102W)
P S W…高橋成子 (104W)、コーディネーター…大島友子
 - ピア・スーパービジョン グループを領域・経験などで分けず、ランダムに分ける。
「ソーシャルワーク」「ソーシャルワーカー」という理念を大切にしたい。
2. 第8回ピア・スーパービジョン日程
2011年10月15日(土) 午後 大学にてオープンキャンパスと連動して開催。
3. 2010年度事業報告
「2010年度スーパービジョンセンター年次報告書」(案)の修正
4. その他
 - ① 2011年度予算削減について
 - ・ 石川県グループS V経費の見直し。受講料と費用の扱い方を変更できるか。
 - ・ グループS Vは交流プラザ聖学院教室解約に伴い、時間貸しで会場を確保する。
 - ② スーパービジョンの本の出版計画について
「スーパービジョンがわかる本(素案)」に基づき助川より説明。

2) スーパービジョン事業

(1) グループ・スーパービジョン

< 柏木 昭 >

① 埼玉県

実施回数：10 回、人数：8 人、場所：新都心ビジネス交流プラザ 4 階聖学院教室

② 石川県

実施回数：11 回、人数：11 人、場所：小松、金沢

(2) 個別スーパービジョン

< 柏木 昭 >

実施回数：延べ 10 回 人数：3 人

場 所：東京駅周辺、池袋駅周辺、その他

< 助川征雄 >

実施回数：延べ 16 回 人数：2 人

場 所：聖学院大学

< 田村綾子 >

実施回数：延べ 10 回 人数：3 人

場 所：日本精神福祉士協会事務局会議室、四谷駅周辺、その他、

< 大野和男 >

実施回数：1 回 人数：1 人

場 所：聖学院大学

(3) スーパーバイザー支援制度

< 柏木 昭 >

実施回数：3 回

人 数：1 人

場 所：東京駅周辺

(4) ピア・スーパービジョン

① 第5回ピア・スーパービジョン

2010年4月17日(土) 13:30~16:30 新都心ビジネス交流プラザ4階会議室

司 会 引地 之宜 (98W)

参加人数 36名

ープログラムー

挨拶 牛津信忠 (聖学院大学人間福祉学部長、スーパービジョンセンター委員長)

室井美紀 (SWnet 代表)

報告 「PSWから」増山章子 (101W)

「MSWから」河副美春 (100W)

「高齢者福祉分野から」大西晋介 (101W)

「障害者福祉分野から」塩川智大 (101W)

ピア・スーパービジョンの説明 助川征雄 (聖学院大学人間福祉学科長)

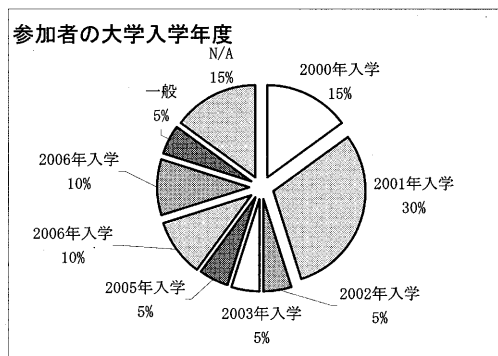
ピア・スーパービジョン

全体共有

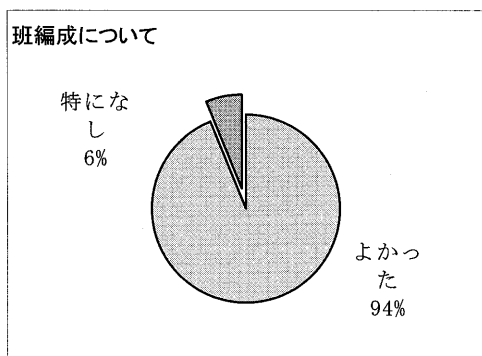
終了後、希望者による二次会

ーアンケート結果ー (回答者 18名)

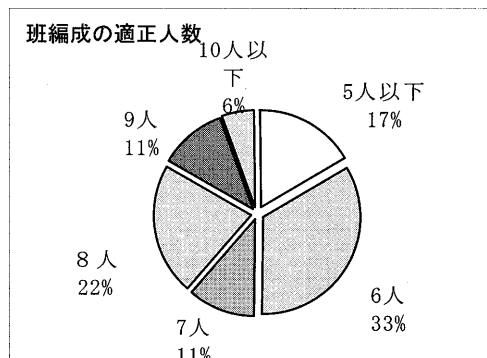
1. 参加者の大学入学年度について



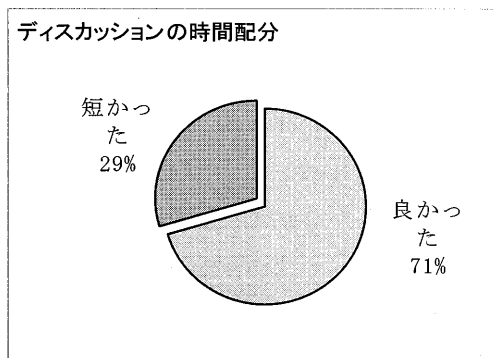
2. グループ・ディスカッションの 班編成について



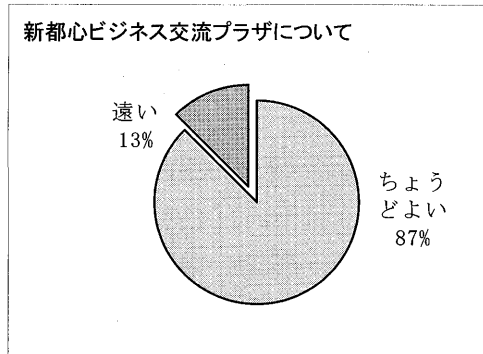
3. ディスカッション班編成の適正人数は



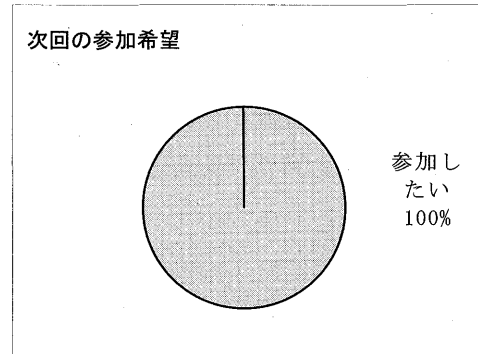
4. ディスカッションの配分時間について



5.会場の新都心ビジネス交流プラザについて



6.次回のピアへの参加希望について



◇講演内容について

- ・久しぶりに先生や友人と会うことができて良かった。参加者の一言一言に心の疲れが取れるような気持ちを持った。
- ・皆さんのお話が聞けて、良かったです。
- ・各分野の生の声を聞くことができたので良かった。他の分野の発表でも共感ができた。
- ・とても参加できて良かったです。
- ・個人での考え方や施設ならではの意見が聞けました。
- ・色々な職種・立場の人の話が聞け、興味深かった。
- ・実際の現場で働く方の生の言葉を聞くことができ、大変参考になりました。普段話せない(話す場がない、理解してくれる同職の人がいないなど)ことを打ち明けられる良い機会だと思いました。
- ・身近な話が多く、良かった。
- ・今後の仕事についての参考やそれぞれの職場の様子や問題点・課題等を知ることができ良かったです。
- ・とても有意義でした。
- ・参加者の発表が聞けて良かった。
- ・自分だけでなく、みなさんととても大きな悩みをお持ちだと分かり良かったです。
- ・高齢・障がい者・MSW・PSWと発表者がいてとても良かった。

◇ピア・スーパービジョンの感想

- ・働き方、インテイクのとり方、休みの取り方、職場でのコミュニケーションの取り方を話しあった。
- ・様々な場でお仕事をしている方のお話が聞けてよかったです。
- ・とてもありがたいアドバイスを頂けてよかったです。
- ・いろいろな分野の話が聞けて良かった。
- ・人それぞれで自分にはまだない悩みや共感できる悩みを聞けて良かったです。

- ・仲間同士で話あったことで悩んでいるのは自分だけではなく、他の人も同じような悩みをもっているんだと分かり、心の支えとなりました。
- ・職員のコミュニケーションの大切さ、それが利用者支援の向上に一番結びついているのではと思った。
- ・色々聞いて良かった。
- ・皆悩んでいると知ること、解決に向けたアドバイスをもらえることは各人の成長の一助となりうるんだなと思い、語ることで個人の中で明確化されていくんだなと改めて実感しました。久々のピア、面白かったです。
- ・話を聞いて自分の考えや立場を改めて感じられた。
- ・大変よいアドバイスを頂け、勉強になりました。
- ・同じ悩みを抱えた人がいたことを知ることができて良かった。
- ・各々煮詰まっている方が多くて、本当にこの場が大切な時間と改めて感じました。
- ・皆どこも大変な中仕事をされているんだなと自分ももう少し頑張れるかなと思えました。
- ・職場の人間関係の課題が多く自分の職場との違いを知ることができた。もっといろんな人の話が聞けたら良かった。グループ内でどうしても話を聞けない人がいるのは仕方ないことかな。



② 第6回ピア・スーパービジョン

2010年10月16日(土) 13:30~16:30

聖学院大学4号館4階第一会議室

総合司会 長澤大輔 (SWnet、98W)

講演司会 助川征雄 聖学院大学人間福祉学科長

参加人数 49名

ープログラムー

挨拶 中村磐男(聖学院大学人間福祉学科教授、スーパービジョンセンター長)、
長澤大輔(SWnet、聖学院大学人間福祉学科卒業生)

講演 ～ソーシャルワーカーとしての歩み～

1「ピアヘルパー制度創設と今」

行實志都子(文京学院大学准教授、聖学院大学非常勤講師)

2「病院、作業所、そして今」

廣江 仁(社会福祉法人養和会 障害福祉サービス事業所F&Y境港(就労継続A型、B型) 所長)

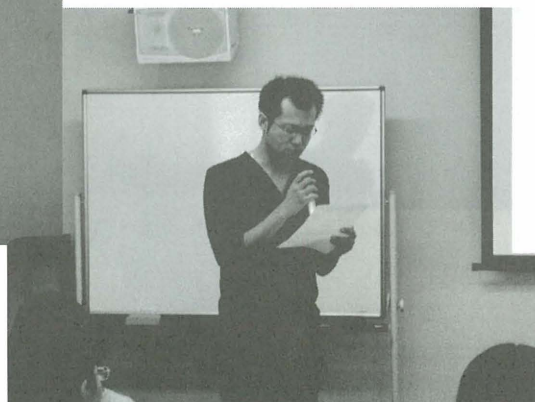
ピア・スーパービジョン

解説「ピア・スーパービジョンとは」 助川征雄(聖学院大学人間福祉学科長)

グループ・ディスカッション

全体会・報告

閉会 牛津信忠(聖学院大学人間福祉学部長)



講演1 「ピアヘルパー制度創設と今」

行實志都子



ピアヘルパー制度創設と今

【今日の目次】

1. 自己紹介
2. ピアヘルパー事業とは
3. そして、これから...

文京学院大学 行實志都子
yukizane@hum.u-bunkyo.ac.jp

大学からソーシャルワーカーへ

- 大学ではMSWをめざしていたが...
- 病院といっても、精神科病院での勤務
精神障害者との初めての出会い
就労への希望
デイケアの就労部門(印刷・パン工場)
病院内での食器洗いのジョブコーチ
高齢者へのお弁当配達
- そして、大阪府からの一本の電話で...



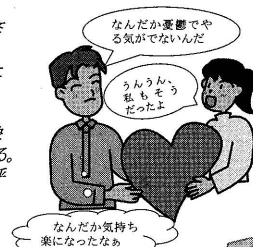
精神障害者居宅介護支援事業について

- 試行事業から
当事者にとって利用しやすい事業
当事者の目線による事業組み立て
の必要性
- 当事者の声
「どんな人が来るの?」「話せるかな?」
「部屋が汚れているので掃除しないと」

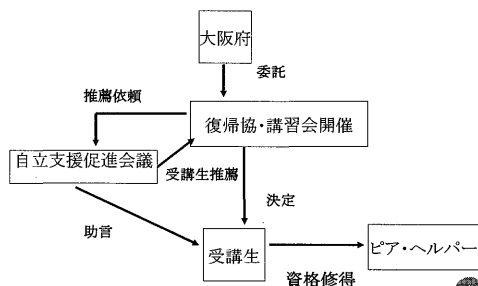


ピアヘルパーとその効果

- ピアヘルパーとは、訪問介護員養成講習2級課程を修了し、精神障害者ホームヘルパー特別研修を修了したホームヘルパーであり、かつ精神障害者を対象としたホームヘルパーである。なお、ピアヘルパーとは、呼称であり、資格名ではない。

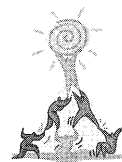


大阪府のピア・ヘルパー構想

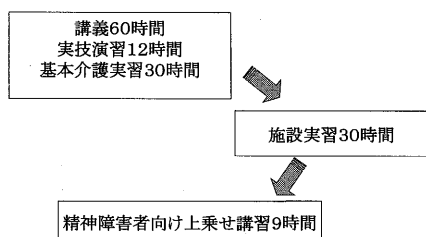


ピア・ヘルパー養成事業の目的

- ①当事者が利用しやすいホームヘルプサービスの提供
- ②当事者のエンパワメント
- ③正しい精神障害者観
- ④就労の機会の拡大



養成課程 合計141時間

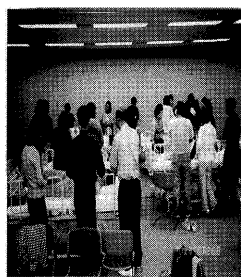


いくつかの工夫

- 当事者と支援者とのペア受講
- 養成期間を約2倍に延長
- 講義時間を1日3時間まで
- 講習会会場の利便性
- 休憩室の完備
- 受講料の軽減
- 申し込み方法



講義風景



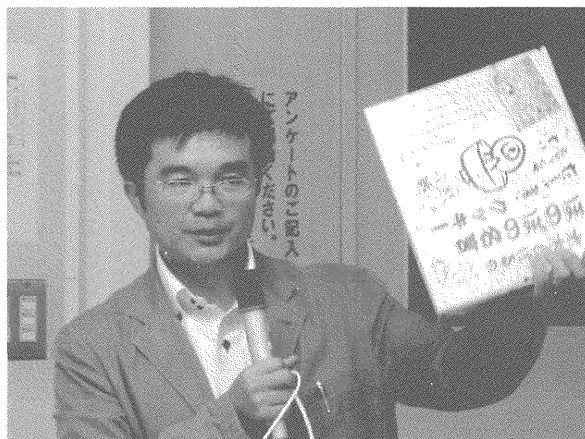
基本介護実習風景

そして、これから・・・

- ピアという力の大きさに実感した9年
共感という気持ちの大切さ
自分一人ではないという気持ちを分かち合うこと
- 自分たちなりのピアを目指すことへの支援
いろんなピアの形があってもいい
- PSWの私たちの役割とやりがい
一歩、一歩、一緒に考え、一緒に悩み、一緒に喜べる
感情や感覚をもってみよう！
観察ではなく、関わって、そして触れ合うことで
やりがいが見えてくる
- サービスがなければ、作ればいい！

講演2 「病院、作業所、そして今」

廣江 仁



ソーシャルワーカーとしての歩み ～病院、作業所、そして今～

社福：豊和会 障害福祉サービス事業所FORYEED 廣江 仁
2010/10/10 金沢市

2010/10/10 金沢市

プロフィール

- ◆ 学歴：明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業（1989）
大正大学大学院社会福祉学専攻博士前期課程修了（2003）
- ◆ 職歴：財）井之頭病院相談室（8年）
NPO）ミュー 就労支援センターMEW（12年）
社福）養和会（平成21年3月～）
武蔵野大学、聖学院大学等で非常勤講師
- ◆ その他：日本精神保健福祉士協会
災害支援体制整備委員会委員長
鳥取県精神保健福祉士会理事
- ◆ 著書：「かかわりの途上で（へるす出版新書）」他

2010/10/10 金沢市

PSWになるまで

実習先
国立久里浜病院
神奈川県精神衛生センター

2010/10/10 金沢市

精神科病院PSW時代

急性期病棟、慢性期病棟
精神保健法
作業所設立、運営
日本PSW協会東京都支部

2010/10/10 金沢市

作業所職員時代

就労支援・クラブハウスモデル
NPO法人化・法人運営

2010/10/10 金沢市

就労支援・クラブハウスモデル

- 就労支援センターMEWのプログラムの特色
- ・自己効力感に焦点化
 - ・自信をつける、自信を回復するプログラム
 - ・授産作業は行わない
 - ・メンバーとスタッフは対等
 - ・スタッフ・メンバー全員で運営方針を決定
 - ・自主性・主体性を重視
 - ・自己決定（所属グループ、担当スタッフ...）
 - ・過渡的雇用による就労支援

2010/10/10 金沢市

NPO法人化・法人運営

・NPO法人MEWの目指すもの
市民性を尊重し、障害者である前に一人の市民であることを配慮します。
メンタルヘルスの視点から、地域全体の健康に貢献します。

・NPO法人MEWの事業

作業所2ヶ所、地域活動支援センター・相談支援事業1ヶ所
グループホーム1ヶ所
武蔵野市就労支援事業（職員を1.5人派遣）
精神保健福祉啓発事業、市民こころの健康支援事業
精神障害者ホームヘルパー養成事業
精神保健福祉ボランティア育成事業、障害者委託訓練事業
東京精神保健福祉士協会事務局

2016/10/14 5:58PM

就労支援センターMEW



2016/10/14 5:58PM

そして現在は

社福 養和会 障害福祉サービス事業所F&Y境港
鳥取県境港市（鬼太郎とさかなの街）

就労継続支援A型およびB型

業務内容：A型・・・株・・・エフビコ（1部上場）との
業務委託契約によるトレー製造
B型・・・農業（伯州綿、野菜）、自主製
品製造販売、下請け作業

職種：管理者・サービス管理責任者兼務

私の仕事は

就労移行支援→就労継続支援

変わらないもの・・・ニーズに応えること

2016/10/14 5:58PM

SV、自己研鑽

研修（日本精神保健福祉士協会、その他）

SV（面接技術、地域支援、職場）

大学院

学会発表

講師

職能団体理事

各種委員会委員

2016/10/14 5:58PM

精神保健福祉士として

どうなりたいか？何をしたいのか？

何をどう変えたいのか？



現状をアセスメント



行動あるのみ
まず口に出すこと
そして動きだすこと

2016/10/14 5:58PM

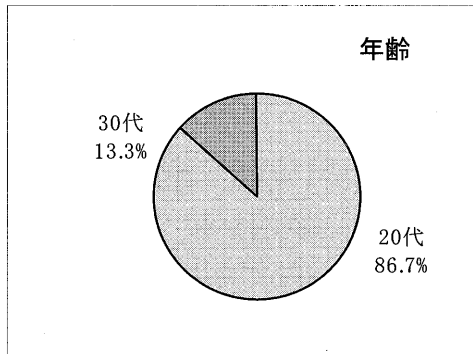
ご静聴ありがとうございました



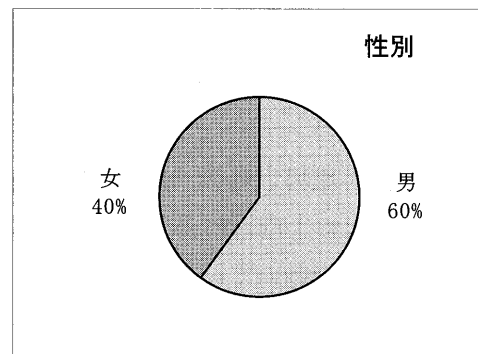
2016/10/14 5:58PM

—アンケート結果—（回答者 15 名）

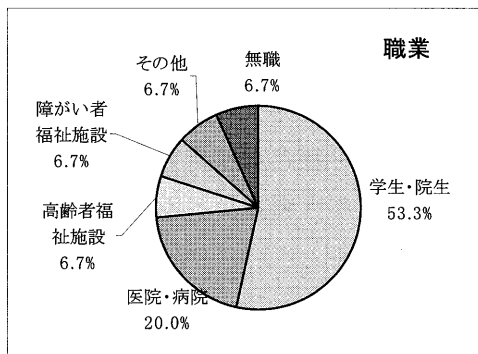
1.あなたの年齢は



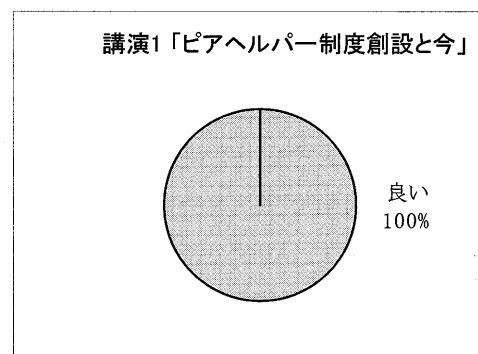
2.あなたの性別は



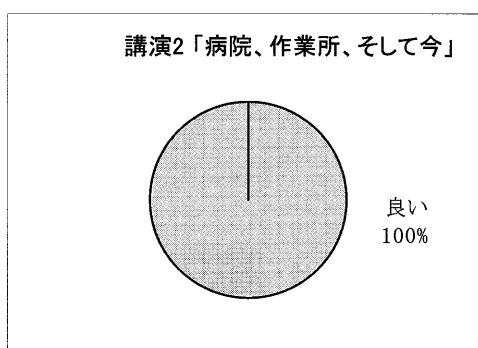
3.あなたの職業は



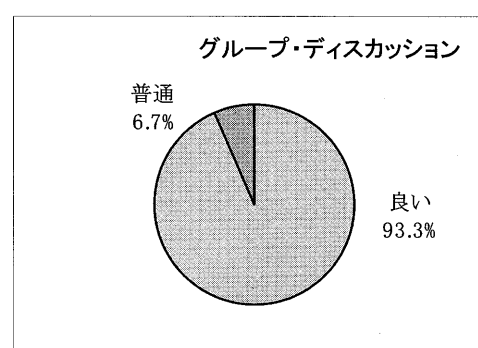
4.「ピアヘルパー制度創設と今」



5.「病院、作業所、そして今」



6.グループ・ディスカッション



《講演 1「ピアヘルパー制度創設と今」について》

- ・ ピアヘルパーの DVD を見たことがある。本当にニーズにこたえた制度だと思う。ピアヘルパー制度が創設されるまでの実際の話が聞けてとてもよかったと思う。
- ・ ピアヘルパーについての内容がよくわかりました。
- ・ ピアヘルパーについての仕組みや目的などがわかって良かったです。
- ・ 今後仕事をしていく上で、いろいろと勉強になりました。

《講演2「病院、作業所、そして今」について》

- ・ 今後仕事をしていく上でいろいろと勉強になりました。
- ・ 現場の内容がわかってよかったです。
- ・ 現場の内容がよく理解できました。

《グループ・スーパービジョンについて》

- ・ なかなか職場以外の PSW とじっくりと話し合うことがないので、貴重な経験でした。話すことの大切さにあらためて気がつきました。
- ・ 現在職場で働いている人からいろいろな話が聞けたことがとてもよかったです。
- ・ 現場の話を聞いて驚きました。
- ・ いろいろな現場での話が聞けて良かったです。

《自由意見》

- ・ 同じ職種の人たちと一緒に悩みや職場の現状等を聞くことができ、とても参考になり、また気持ちも軽くなりました。
- ・ 現場のことやいろいろな人の意見を聞いてとてもいい経験になりました。
- ・ これからもピア・スーパービジョンを続けていくことの大切さがとても理解できました。
- ・ また参加したいと思います。(3名)



① 第7回ピア・スーパービジョン

2011年2月26日(土) 13:30~16:30 新都心ビジネス交流プラザ4階会議室

司 会 長澤大輔 (SWnet、98W)

コーディネータ 大島知子 (SWnet、99W)

参加者数 25名

ープログラムー

挨拶 柏木 昭(聖学院大学総合研究所名誉教授、スーパービジョンセンター顧問))

増山章子 (SWnet、101W)

解説 「ピア・スーパービジョンとは？」相川章子(聖学院大学人間福祉学科准教授)

報告 「PSWから」高橋成子 (SWnet、104W)

「高齢者福祉分野から」秀村智香 (SWnet、102W)

「障害者福祉分野から」紫藤彬子 (SWnet、103W)

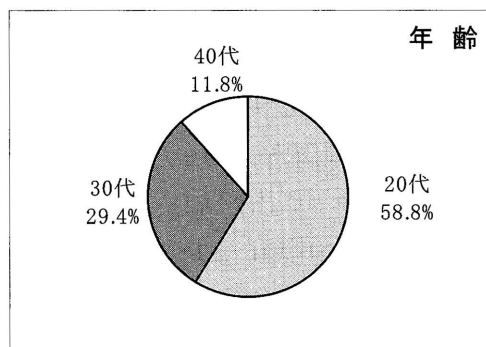
ピア・スーパービジョン

全体共有

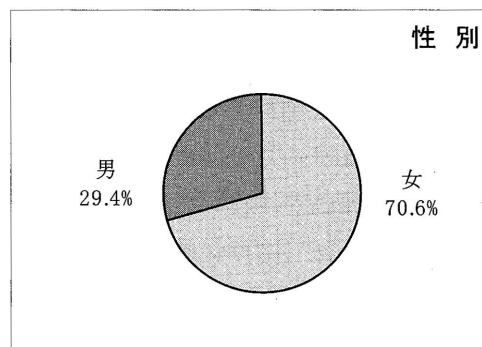
終了後、希望者による二次会

ーアンケート結果ー

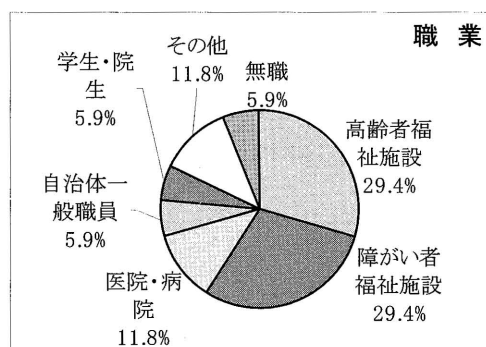
1.参加者の年齢



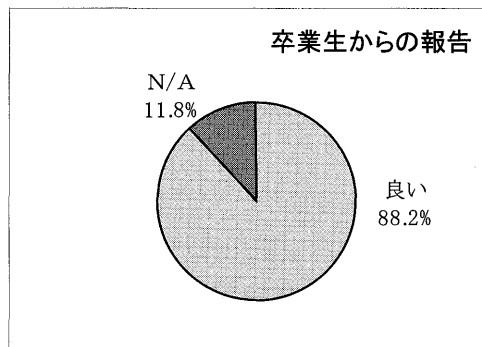
2.参加者の性別



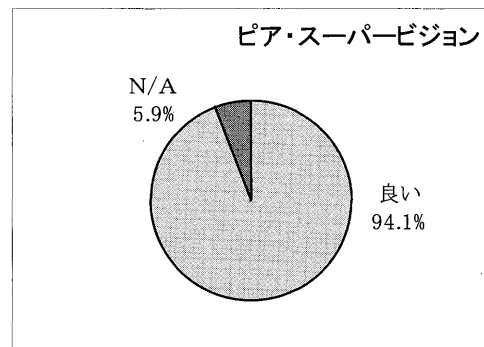
3.参加者の職業



4.卒業生からの報告



5.ピア・スーパービジョン



《卒業生からの報告について》

- ・ あれも同じ、これも同じというように、共感できる部分が全部で、発表全体で共通のテーマがあって聞きやすかった。
- ・ 実体験をお聞きできて共感でき、すごくよかった。
- ・ 大変な思いを乗り越えてきたこと、共感できることが多かった。
- ・ 私もそうだったと共感できるお話がきけてよかったと思います。
- ・ さまざまは施設の方の思い、悩みがきちんと表れていて大変良かったです。
- ・ 現場は違うけれど、悩みが同じとわかると、悩むことは悪いことではないと思えました。
- ・ 福祉の現場で働く方の話は、共感することも多く、同じようにつらく感じます。じっくりと報告を聞くことができるので、他の職場の様子がわかって良かったです。
- ・ 独りでないんだなと感じることができました。
- ・ ご自分のことがよくわかっている方々ですごいなあと感心するばかりでした。
- ・ ステキなワーカーがたくさんいて、そのような人たちに会えて良かったです。
- ・ 大変勉強になりました。
- ・ 私はP S W（精神保健福祉士）として現場で働いた経験はまだありませんが、現場で働く方からの生の声（悩み、問題、考え方などさまざまな思い）を聞くことができ、仕事へのイメージがわきやすくなりました。ネットや情報誌ではわからないことを聞くことができたと思います。
- ・ 現場の生の声が聞けて、不安要素が少し強くなりましたが、先輩方の体験談を参考にしたいと思いました。

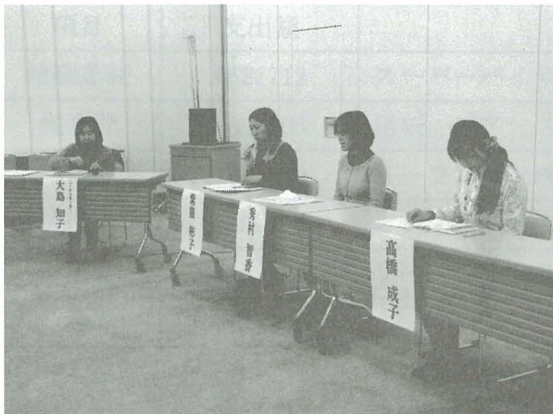
《ピア・スーパービジョンについて》

- ・ ワーカー独りで働く方が“気持ちを吐き出す場”ができてよかったと思います。たとえ解決はしなくても、この場が有る無いでだいぶ変化があると思いました。
- ・ 先輩の乗り越えた経験の話が聞けて良かったです。発信して受け入れてもらえ、別の視点で話していただけるプロセスで、また気づきを得られて良かったです。
- ・ 素直な気持ちで話ができる場は本当に必要だと思いました。

- ・ 今、自分の悩みに対して客観的に見つめることができた。
- ・ 少人数であったため話しやすく、ランダムなグループ分けであったが全く違和感がなかった。
- ・ （グループが）4人という人数でゆっくり発言ができよかった。
- ・ どんな話になるか心配でしたが、すごく参考になった。
- ・ いろいろな話ができよかったと思います。
- ・ 初めて会う方もいるので、打ち明けて話をしていくには少し時間がかかるようです。時間が足りないとも思いました。自分の話をすることができて満足しています。
- ・ これから社会に出て、福祉の仕事をする中で役に立つことをたくさん教えていただけてよかったです。
- ・ これからも参加したいです。

《自由意見》

- ・ ピア・スーパービジョンの機会を作っていただきありがとうございました。職場でもこういう場を作れるようにできたらと思います。ここでの気づきをまずは身近な人に発信することから始めたいです。
- ・ 自分の気持ちを確認する良い機会になりました。ありがとうございました。
- ・ また参加したいと思います。いろいろな職場の悩み、そしてその解決の方法がよくわかりました。
- ・ せっかく広い会場を使っているのに、たくさんの方が来場してくれたらいいなと思った。卒業生以外の方もいらしてくれているので、仕事の話をするのができてよかった。柏木先生からご助言をいただきはげみになりました。職場に早く帰って取り組んでみたいです。
- ・ 悩みがどうしてもなく大変になる前には助けを求めさせていただきます。
- ・ 続けていただいて感謝するとともに、今後とも続けていただければと思います。第8回も参加したいと思います。
- ・ 大変ためになりよかったです。
- ・ また参加したいです。
- ・ 人数が少なく残念。



3) その他の事業

- ・ スーパービジョンセンター案内リーフレット増刷
- ・ 埼玉県内の福祉・保健施設、保健センター等へリーフレット送付
- ・ 埼玉県内の福祉・保健施設、保健センター等、および聖学院大学人間福祉学科卒業生、資料請求者等へグループ・スーパービジョンの案内送付
- ・ 聖学院大学人間福祉学科卒業生、一般へピア・スーパービジョンの案内

4) 今後の課題

- ・ SVCの事業についての卒業生や関係者への広報の拡大
- ・ キャリアサポート課との連携強化
- ・ 職場の管理職（スーパーバイザー）へのスーパービジョンの必要性

3 2010 年度予算

【収入】

項目	細目	単価	人数	回数	金額	備考
受講料	グループ・スーパービジョン	3,000	5	10	150,000	1G10人×10回
受講料	グループ・スーパービジョン(卒業生)	1,000	5	10	50,000	
受講料	個別スーパービジョン	6,000	5	10	300,000	(08年度継続2名)
受講料	個別スーパービジョン(卒業生)	2,000	5	10	100,000	(08年度継続2名)
受講料	スーパーバイザー支援制度	8,000	2	10	160,000	
合 計					760,000	

【支出】

項目	細目	単価	人数	回数	金額	備考
講師代	グループ・スーパービジョン	10,000	1	10	100,000	1回2時間10人×10回
講師代	個別スーパービジョン	10,000	10	10	1,000,000	1回2時間
講師代	スーパーバイザー支援制度	10,000	2	10	200,000	1回2時間
研修代	ピア・スーパービジョン講師代	20,000	1	2	40,000	年2回開催
研修代	ピア・スーパービジョン交流会代	20,000		2	40,000	年2回開催
研修代	ピア・スーパービジョン会場代	20,000		2	40,000	年2回開催
印刷製本	報告書作成	150,000		1	150,000	年1回発行
広報	パンフレット作成	100,000		1	100,000	増刷
広報	通信費	80	900	2	144,000	卒業生他へ郵送
合 計					1,814,000	

4 決算 (2011 年 3 月 7 日現在)

【収入】

項目	収入額	内 容
受講料	380,000	グループ、個別、支援制度

【支出】

項目	支出額	内 容
報酬委託	653,712	スーパーバイザー謝礼、ピア・スーパービジョン講師謝礼
集会費	80,805	用紙、ピア・スーパービジョン飲物、軽食
印刷費	104,919	リーフレット増刷、
賃借料	5,100	ピア・スーパービジョン会場費
通信費	216,420	リーフレット発送、スーパービジョン案内発送
計	1,060,956	

5. 資料 ピア・スーパービジョンのご案内

(表)

卒業生交流会

第4回 ピア・スーパービジョン開催のお知らせ

みんなで久しぶりに

顔を合わせませんか？

普段、福祉現場で悩んでいる人も、そうでない人も、この場を使ってみんなで話をして交流をしませんか？悩みのある人は、どんどん相談したり、壁を乗り越えた人は、是非、仲間の力になってみませんか？卒業生を中心に集まりますが、職場の仲間に興味のある方がいれば、お誘いください。毎回、卒業生以外の方も、現在福祉の現場で働いていない方も参加しています。興味があれば是非ともご参加ください。

この会は、『学ぶ場』ではなく『体感する場』なので、難しく考えずに、職場だけでは話きれない悩みや相談などをしてみませんか？職場環境は違えども、同じ状況もあると思います。情報交換などをしたり、日常を客観的に振り返ってみたり、職場だとなかなか意識していても出来ないことを、この場を使ってやってみませんか？

たくさんの方の参加をお待ちしております。(交流会のあと、懇親会も計画しております)

日程

【日時】平成22年4月17日(土) 13:30~16:30 (受付 13:00~)

【場所】新都心ビジネス交流プラザ 4F

★JR 埼京線「北与野駅」下車すぐ (改札を出て左手に曲がるとすぐ)

★JR 宇都宮線・高崎線・京浜東北線「さいたま新都心駅」下車 徒歩10分

(改札を出て左手に進み、2F 歩行者デッキが北与野駅まで繋がっています)

周辺地図 <http://www.saitama-j.or.jp/~sangaku/html/ac.html>

【プログラム】

13:00 受付開始

13:30 開会

内容：卒業生の報告、スーパービジョン
全体共有など

16:30 閉会 (17:30~懇親会予定、大宮近辺)

(裏)

《卒業生の報告》

PSW	101W098	増山 章子さん	MSW	100W030	河副 美春さん
高齢者	101W505	大西 晋介さん	障がい者	101W058	塩川 智大さん

「卒業生交流会 第4回スーパービジョン」参加申込書

申し込み先（メールもしくは FAX のいずれかで下記のところまでお送りください）

メール：seigwelfare.net@yahoo.co.jp FAX：048-781-0421

郵送：聖学院大学総合研究所スーパービジョンセンター事務局

〒362-8585 上尾市戸崎1-1

問合せ先：048-725-5524

- ① 卒業生交流会 第4回スーパービジョンに 参加 ・ 不参加（どちらかに○）
- ② 懇親会（17：30～大宮駅近辺で予定）に 参加 ・ 不参加（どちらかに○）
- ③ 学籍番号 _____
- ④ 氏名 _____
- ⑤ 連絡先（メールで OK です） _____ @ _____
- ⑥ 現在の勤務先 _____
- ⑦ 参加希望のグループ（現在、異業種の方は、興味のあるグループに○）

PSW MSW 高齢者 障がい者

* 懇親会のみ参加も OK です

懇親会のみ参加の方は、当日必ず連絡がとれる連絡先をご記入ください。

今、悩んでいること、当日話をしてみたいことがあればご記入ください。

【お願い】

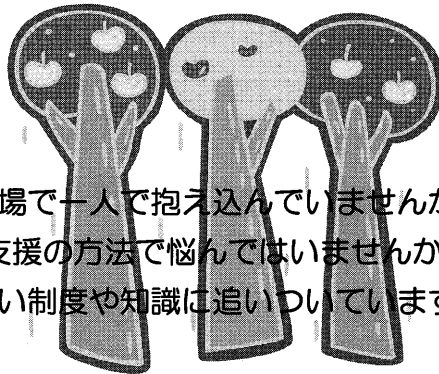
今回、参加ができない方も、近況報告や、悩みがあれば何かコメントをご記入し、送ってください。貴重な情報として共有させてください。

注：個人情報に関しましては、連絡や参加される方の確認の為のみ適切に使用させていただきますのでご安心ください。配布資料等に個人が記載されることはございません。また、この度いただいた個人情報につきましては、ピア・スーパービジョンに関わる以外には使用しないものとします。

(表)

聖学院大学総合研究所人間福祉スーパービジョンセンター
SWnet（聖学院ウェルフェアネットー卒業生を中心とする福祉のネットワーク）共催

第6回 ピア・スーパービジョン



現場で一人で抱え込んでいませんか？
支援の方法で悩んでいませんか？
新しい制度や知識に追いついていますか？



保健・社会福祉現場で対人援助を行っている人たちの
「語り合い・振り返り・支え合いの場」、それがピア・スーパービジョンです。
同じ悩みや課題を持つ者同士が語り合い、クライアントとのかかわりを振り返り、
日々の業務を見直します。職場を越えたつながりを作り、情報交換をしましょう。

日 時：2010年10月16日（土）
13：30～16：30（受付開始13：00）
場 所：4号館4階会議室
対 象：福祉現場で働いている方、福祉現場を応援したい方
＊聖学院大学卒業生ではない方も参加できます。
参加費：無 料

—プログラム—

- 一部 スーパーバイザー講演「ソーシャルワーカーとしての歩み」
廣江 仁（社福）養和会指定障害福祉サービス事業所F&Y境港（就労継続A型）所長
行實 志都子 文京学院大学人間学部人間福祉学科准教授 聖学院大学非常勤講師
- 二部 ピア・スーパービジョン
ピア・スーパービジョンの説明 助川征雄
ピア・スーパービジョン（少人数グループに分かれてグループワーク）

◇ なお、大宮近辺にて二次会を開催いたします。奮ってご参加ください。

(裏)

参加申し込み方法



1. ファクシミリで 下欄の参加申込書に記入し、このまま送信してください。
送信先：048-781-0421 聖学院大学総合研究所

2. メールで 下欄の参加申込書の内容をメールに記入してお申し込みください。
送信先：seigwelfare.net@yahoo.co.jp

2010年10月16日(土) ピア・スーパービジョンに参加します。

ふりがな
お名前

卒業生のみ
(学籍番号)

ご住所 〒

電話番号

勤務先または職種

E-mail address

二次会 (○をつけてください)

ご出席

・ 考え中

・ ご欠席



個人情報保護法に基づき、聖学院大学主催の催事・講座の案内以外には使用いたしません。

参加者の声

悩んでいるのは自分だけではなく、
みんな悩みを抱えているとわかった。

よいアドバイスをもらえて
勉強になった。

自分ももう少し
がんばれるかなと思った。

普段話せない、話す場がないことを
打ち明ける良い機会だった。

色々な職種、立場の人の話が聞けて
よかった。

参加者の一言ひと言に
心の疲れが取れるようだった。

学生バスのご案内

宮原駅・西大宮駅からの学生バスを
ご利用ください。乗車時に「ピア・
スーパービジョンに参加する」と運
転手に教えてください。運行時刻は
大学HPをご覧ください。

お問い合わせは

聖学院大学総合研究所
〒362-8585 上尾市戸崎 1-1
TEL 048-725-5524
seigwelfare.net@yahoo.co.jp

ヴェリタス祭 11月3日(祝)・4日(木)
人福祉学科卒業生・在校生の交流室を用意しています。
卒業生の皆様、ぜひおこしく下さい。



(表)

みなさんの【今】を 教えてください

年に一度の企画です！！

みなさんの近況はいかがですか？

現場で悩みを抱えている？？順調に仕事ができている？？福祉職以外で働いている？？

毎年たくさんの方々にご参加頂いている企画です。ここから輪が広がっていきたくさんの方々繋がっています。

さらに今回は、在校生も参加する予定です。益々、人の繋がりが感じられる有意義なものになりそうです。いろいろな経験を人に伝えることで、整理出来たり（自己覚知とはいいません）、相手の話を聞いて共感できたり、とにかく、【今】を話してみませんか？もちろん、ただただ同窓との交流をメインに考え参加されても構いません。お時間の都合がつかない方は、交流会からの参加でも構いません。久しぶりにお酒を飲んで楽しい時間を過ごしませんか？ たくさんの方のご参加をお待ちしております。

ピア・スーパービジョンとは？

同じ目的を持つ仲間同士で、仲間の様々な困難を共有し、問題解決や実践の質を高めるために、互いに自分の体験を最大限に活用し、サポートすること。（社会福祉の仕事、効率的に進めることを目的とした、身近な仲間による、体験交流とサポート）

【日時】平成 23 年 2 月 26 日（土）13：30～16：30 （受付 13：00～）

【場所】新都心ビジネス交流プラザ 4F

★JR 埼京線「北与野駅」下車すぐ（改札を出て左手に曲がるとすぐ）

★JR 宇都宮線・高崎線・京浜東北線「さいたま新都心駅」下車 徒歩 10 分

（改札を出て左手に進み、2F 歩行者デッキが北与野駅まで繋がっています）

周辺地図 <http://www.saitama-j.or.jp/~sangaku/html/ac.html>

【プログラム】 第7回 ピア・スーパービジョン

13：00 受付開始

13：30 開会

内容：卒業生の報告、ピア・スーパービジョン、全体共有など

16：30 閉会

17：30 交流会予定、北与野駅近辺

《卒業生の報告》

PSW 104W 高橋成子さん

MSW

105W 山谷謙介さん

高齢者 102W 秀村ともかさん

障がい者

103W 紫藤彬子さん

《企画メンバー》 98W 川田虎男 長澤大輔 室井美紀 山田裕太 吉田亮介

99W 大島知子 100W 河副美春 101W 増山章子

2010 年度

聖学院大学人間福祉スーパービジョンセンター年次報告書

2011 年 3 月 31 日発行

編 集 聖学院大学人間福祉スーパービジョンセンター

発 行 聖学院大学総合研究所

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎 1-1

Tel 048-725-5524 Fax 048-725-0324

E-mail research@seigakuin-univ.ac.jp

印 刷 社団法人やどかりの里 やどかり印刷

〒337-0026 埼玉県さいたま市見沼区染谷 1177-4

Tel 048-680-1893 Fax 048-680-1894

聖学院大学総合研究所

所長／大木英夫
〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1
Tel 048-725-5524 Fax 048-781-0421
E-mail address: research@seigakuin-univ.ac.jp

学校法人 聖学院

理事長／大木英夫
〒114-8574 東京都北区中里3-12-2
Tel 03-3917-8351 Fax 03-3940-3978
http://www.seig.ac.jp E-mail address: pr@seig.ac.jp

聖学院アトランタ国際学校

Seigakuin Atlanta International School
5505 Winters Chapel Road, Atlanta, GA 30360 USA
Tel 1-770-730-0045 Fax 1-770-730-0245
http://www.seig.ac.jp/english/atlanta/

聖学院みどり幼稚園

〒331-0045 埼玉県さいたま市西区内野本郷820
Tel 048-622-3864 Fax 048-625-1822

聖学院幼稚園

〒114-8574 東京都北区中里3-13-2
Tel 03-3917-2725 Fax 03-3917-1739

聖学院小学校

〒114-8574 東京都北区中里3-13-1
Tel 03-3917-1555 Fax 03-3917-5560

女子聖学院中学校・高等学校

〒114-8574 東京都北区中里3-12-2
Tel 03-3917-2277 Fax 03-3917-3680

聖学院中学校・高等学校

〒114-8502 東京都北区中里3-12-1
Tel 03-3917-1121 Fax 03-3917-1123

聖学院大学

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1
Tel 048-781-0925 Fax 048-726-2962
政治経済学部
政治経済学科 コミュニティ政策学科
人文学部
欧米文化学科 日本文化学科
人間福祉学部
児童学科 人間福祉学科

聖学院大学大学院

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1
Tel 048-725-0781 Fax 048-781-0421
アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科
政治政策学研究科
人間福祉学研究科

聖学院国際センター

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1
Tel 048-725-2801 Fax 048-781-0094
E-mail address: sic@seigakuin-univ.ac.jp